

# 群馬県議会だより

第83号

発行●群馬県議会 編集●県議会図書広報委員会  
群馬県立高崎工業高等学校定時制3年生 授業書道I受講生 富田 賢一さんの書道作品です。〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-4131(政策広報課)



伊藤 祐司



橋爪 洋介



福重 隆浩

高崎市

定数9



中島 篤



後藤 克己



角倉 邦良



高井 俊一郎



松本 基志



岸 善一郎



亀山 貴史



相沢 崇文



井田 泰彦

桐生市

定数3



八木田 恭之



穂積 昌信



薬丸 潔

太田市

定数5



あべ ともよ



今泉 健司



矢野 英司



秋山 健太郎

みどり市

定数1

富岡市

定数1



森 昌彦



川野辺 達也



久保田 順一郎

邑楽郡

定数3



井田 泉

佐波郡

定数1



星野 寛

利根郡

定数1



入内島 道隆

吾妻郡

定数2



萩原 渉

甘楽郡

定数1



牛木 義

北群馬郡

定数1



大林 裕子



水野 俊雄



岩上 憲司



狩野 浩志



中沢 丈一

前橋市

定数8



本郷 高明



小川 晶



安孫子 哲



酒井 宏明



加賀谷 富士子



大和 勲



井下 泰伸



腎 泰雄

伊勢崎市

定数5



多田 善洋



泉沢 信哉

館林市

定数2



斎藤 優



金子 渡



星名 建市

渋川市

定数2



金井 康夫

沼田市

定数1



伊藤 清



岩井 均

安中市

定数2



金沢 充隆



神田 和生

藤岡市・多野郡

定数2

群馬県議会議員50名選挙区別 (現員50名 令和元年12月16日現在)

結ぶに、皆さま方のますますの御健勝と御活躍を心から祈念申し上げます。あいなさつといたします。

特に、若い世代に政治への関心を高め、若者にも政治への関心を高めて、若くは、大学生が議会傍聴と議員との意見交換を行う事業や、議員が高校を訪問し、高校生と意見交換を行う事業を実施してまいりました。若者に少しでも政治への関心を高めてもらえればと願いつつ、取り組んでいるところです。

さて、県議会においては、「県民に開かれた議会」、「県民の意思が反映される議会」を基本理念とする議会基本条例に基づき、積極的な活動を行ってまいります。

新年のごあいさつ



群馬県議会議長  
狩野 浩志

明けましておめでとうございます。令和二年の新春を迎えるに当たり、県民の皆さまに、県議会を代表して、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。昨年、新天皇が即位され、新たな「令和」の時代を迎えました。この「令和」が平和で希望に満ちあふれ、誰もが輝ける素晴らしい時代となることを期待するとともに、改めて、県民の皆さまとともに新時代を切り開き、本県のさらなる飛躍と発展を目指して、一層の努力を重ねてまいります。

質疑及び一般質問

令和元年11月29日、12月2日、4日に開催された本会議(質疑及び一般質問)では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

11月29日(金)

◎全力疾走366プランについて



自由民主党 星名 建市

Q プランを作成した意図について伺います。また、次期総合計画策定後も毎年、プランにあるような工程表を作成してはいかがでしょうか。

A 全ての県職員に、各部局のプロジェクトの位置付けや今後の展開を把握、共有してもらうとともに、県議会やメディアの皆さまに、全体の流れを知っていただきたいと考えたためです。これからも、時期は未定ですが、このプランのような工程表を示すことにより、県議会や県民の皆さまに県政を分かりやすく説明しつつ、群馬県を輝かせる政策を推進していきます。

◎堤防強化の必要性について



リベラル群馬 角倉 邦良

Q 台風第19号の洪水災害で堤防強化の必要性が求められています。どのよう具体的な対応を行っていきますか。

A 堤防が決壊に至る3つの要因のうち、大きい水の流れによる「侵食」に対しては、堤防の安全性調査を来年度中に完了させることとしています。さらには、河川の水が堤防を乗り越える「越水」



井野川の堤防天端の舗装状況

に対しても、堤防が決壊しにくくなるよう、県管理河川の全ての堤防について、来年度中に堤防天端(てんば)の舗装を施工することとしています。

◎保育士・保育所支援センター設置について



自由民主党 大和 勲

Q 保育士不足解消のためには、保育分野に特化した就職支援を行う「保育士・保育所支援センター」の設置が必要と思いますが、県の考えはいかがですか。

A 今年実施した保育士登録者へのアンケートでは、再就職に不安を感じている潜在保育士は、再就職前の園見学や研修を要望していました。就職活動に寄り添いながら不安を解消し、丁寧な相談支援を行う保育士・保育所支援センターの設置については、他県の先進事例や課題を調査しながら、本県での必要性を研究してまいります。

◎新規路線バスの補助要件について



令明 金子 渡

Q 現在、市町村乗合バス制度での新規路線バスに対する補助要件は収支率40%以上ですが、地域住民の利便性を考え、補助要件を20%以上に下げるとの要件緩和が必要と考えますがいかがでしょうか。

A 補助路線として採択後、補助が継続できる収支率は20%以上ですが、新規バス路線の条件である収支率40%以上とは不整合であるとのご意見もあり、地域の公共交通の確保には、市町村による地域全体のバス路線の再編などが必要ことから、バス路線網を効率的な運行へ見直す場合などに限定した上で、検討してまいります。

12月2日(月)

◎エシカル(倫理的)消費について



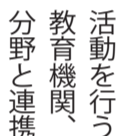
自由民主党 穂積 昌信

Q 他県では、エシカル消費を行い、さまざまな取組を行っているところもあります。本県でも、エシカル消費について普及

啓発の取組を積極的に進めてほしいかかかでしょうか。

A エシカル消費とは、消費者それぞれが各自の社会的課題の解決を考慮したり、課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うことです。今後、庁内関係部署、教育機関、消費者団体、事業者など幅広い分野と連携し、より分かりやすく普及啓発を行い、エシカル消費の視点を持った消費行動を促進してまいります。

◎中学生に対する自転車安全対策について

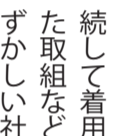


公明党 薬丸 潔

Q 中学生に対する自転車安全対策について、知事の考えを伺います。

A 中学生に対する具体的な事故防止対策として、ヘルメット定着化に向けた環境整備が急務であると認識しています。具体的には、企業版ふるさと納税の活用による保護者の負担軽減や、すでに着用が義務化されている中学生においても、ヘルメットのデザインを自由化して高校進学後も継続して着用してもらえるような中高連携した取組など、ヘルメットをかぶらないと恥ずかしい社会の実現に向けた、ぐんまモデルの安全対策に来年度から取り組みます。

◎地場産業について



自由民主党 亀山 貴史

Q 地場産業の振興と担い手育成の取組はいかがでしょうか。

A 繊維や地酒、食品、伝統工芸品などの地場産業においても担い手の確保と育成が課題であり、県ではその取組として、業界団体や産業支援機関と連携した研修などの人材育成事業に加え、「ぐんま酒と食の祭典」などの販路拡大イベント、SNSを活用した業界の魅力発信事業などにも取り組んでいます。東京オリンピック



ぐんま酒と食の祭典2019(10月5日、6日)

やGメッセ群馬のオープンなどを本県地場産業発展の機会と捉え、関係市町村とも連携し、引き続き地場産業振興に努めます。

◎鉄道に代わる公共交通機関としてのBRT(バス高速輸送システム)について



自由民主党 久保田 順一郎

Q BRTは交通弱者対策に有効であり、新たな公共交通機関になると考えられますが、県の考えについて伺います。

A 鉄道廃線敷を利用したバス専用道を走行する茨城県日立市のバス路線「ひたちBRT」は、住民や沿線企業、学校など、地域を巻き込んだ活動で、利用者数を伸ばし続けています。日立市の資料によると、BRTは定時性・速達性が確保できること、柔軟な運行ルートが設定できること、安価な整備費と維持管理費のメリットがあることとあり、引き続き、さまざまな検討を進めてまいります。

12月4日(水)

◎中山間地域での暮らしの足の確保について



自由民主党 神田 和生

Q 県では相乗りタクシーなどの実証実験を実施していますが、今年度の取組状況はいかがでしょうか。また、来年度以降、その結果を踏まえて、どのように取り組んでいきますか。

A 住民互助による「相乗り」など、新たな移動手段について、今年度は、安中市と明和町、川場村の実証実験を支援しています。その取組事例やノウハウを広く市町村に横展開し、公共交通が運行されていない地域の移動手段を確保していくことを目標としています。



相乗りタクシー(安中市)

◎部活動における保護者の送迎等について



リベラル群馬 加賀谷 富士子

Q 中学校の部活動の試合等においては、保護者の送迎等が負担だと聞きますが、どう考えていますか。

A 県教育委員会としては、「徒歩や自転車以外の移動は、公共交通機関の利用を原則とする」と考えていますが、現状として、本県の公共交通機関の事情や利便性、学校の所在地や試合等の開催場所によっては、保護者の送迎による移動に頼らざるを得ない状況であることも承知しています。保護者の理解と協力のもと、適正な部活動が行われるよう、引き続き取り組んでまいります。

◎台風第19号による河川敷の県営ゴルフ場の被害について



自由民主党 萩原 涉

Q 被害状況及び今後の対応はいかがでしょうか。また、河川敷利用の見直しが必要と考えますがいかがでしょうか。

A 大量の泥やゴミの流入、トイレやフェンスの流出など、原状復帰に計5億円程度の費用を要する甚大な被害が発生しました。上武ゴルフ場以外の4ゴルフ場においては、10月末までに営業を再開することができました。今般の台風被害に鑑み、河川敷利用の見直しを含め、さまざまな角度から検証し、河川管理者の国や県、地元自治体などに対応を検討してまいります。

◎ASF(アフリカ豚コレラ)を防ぐための対策について



自由民主党 中沢 丈一

Q アジア全域に拡大しているASFを防ぐには、まずは水際対策が重要であると考えますが、今後のASF対策について県の考えを伺います。

A ASF対策として特に有効なのは、空港などでウイルスに汚染された畜産物の国内持込みを未然に排除するための体制構築であり、関東各都県と連携し、国に対して水際対策を要望してまいります。ASFにはワクチンがないことから、養豚農家の方々に対し、消毒の徹底と飼養衛生管理基準の遵守をお願いしているところです。

### 積極的な委員会活動を行っています。

県議会に設置されている委員会は、担当する所管事項について、審議の参考とするために、現場に向いて調査活動を行っています。今回は、特別委員会の「県外調査」の状況をご紹介します。



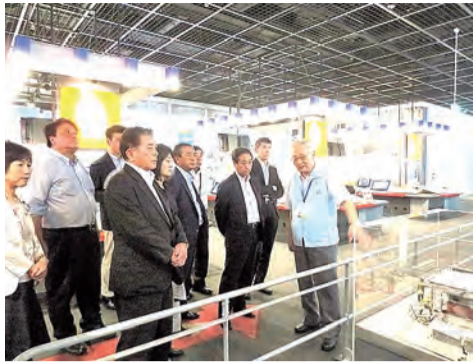
### 防災・減災対策特別委員会

委員長：星野寛、副委員長：伊藤清  
委員：伊藤祐司、角倉邦良、中島篤、  
あべともよ、安孫子哲、川野辺達也、  
本郷高明、松本基志、大林裕子、  
牛木義

★令和元年7月23日(火)～25日(木)

#### ①人と防災未来センター(兵庫県神戸市)

調査目的 災害に強い県土を築く防災・減災対策  
阪神・淡路大震災の経験を語り継ぎ、その教訓を未来に生かす同施設の取組について調査を行いました。



人と防災未来センターにて

#### ②野島断層保存・北淡震災記念公園(兵庫県淡路市)

調査目的 災害に強い県土を築く防災・減災対策  
阪神・淡路大震災を引き起こした野島断層を屋内保存するなど、実物を通して地震のすさまじさと脅威を伝える同施設の取組について調査を行いました。

#### ③兵庫県広域防災センター(兵庫県三木市)

調査目的 危機管理体制・地域防災対策  
兵庫県内に6カ所整備された広域防災拠点の中核機能を持つとともに、県民を対象とした体験型学習や訓練なども実施する同施設の取組について調査を行いました。

#### ④兵庫県庁(兵庫県神戸市)

調査目的 危機管理体制・災害時における関係機関との連携・協力

### 外国人との共生に関する特別委員会

委員長：岩井均、副委員長：多田善洋  
委員：若上憲司、金子渡、薬丸潔、大和勲、  
穂積昌信、加賀谷富士子、斉藤優、  
森昌彦、八木田恭之、矢野英司

★令和元年7月24日(水)～26日(金)

#### ①学校法人神野学園中日本自動車短期大学(岐阜県加茂郡坂祝町)

調査目的 外国人材の活躍推進  
海外からの留学生を積極的に受け入れ、技術の習得に必要な日本語学習環境を整備し、充実した留学生生活をサポートする同大学の取組について調査を行いました。

#### ②浜松市外国人学習支援センター、学校法人ムンド・デアレグリア学校(静岡県浜松市)

調査目的 外国人住民への生活支援・外国人生徒への教育  
地域ボランティアと連携し「学習」と「交流」を総合的に行う同センター及び平成16年12月に南米系外国人学校として全国で初めて各種学校の認可を受けた同学校の取組について調査を行いました。



学校法人ムンド・デアレグリア学校にて

#### ③公益財団法人浜松国際交流協会、浜松市多文化共生センター(静岡県浜松市)

調査目的 外国人住民の生活支援  
市民レベルでの国際交流及び多文化共生の推進母体として各種相談・講座等を実施する同協会及び市から委託を受け外国人にも分かりやすいまちづくりを支援する同センターの取組について調査を行いました。

#### ④中央省庁(総務省、法務省、厚生労働省、経済産業省、警察庁)

調査目的 外国人労働者への対応・外国人住民の生活支援  
中央省庁における新たな外国人材の受け入れ等の取組について説明を受け、意見交換を行いました。

### まちづくり戦略特別委員会

委員長：久保田順一郎、副委員長：泉沢信哉  
委員：福重隆浩、後藤克己、岸善一郎、  
井下泰伸、酒井宏明、井田泰彦、  
今泉健司、高井俊一郎、亀山貴史、  
秋山健太郎

★令和元年11月6日(水)～8日(金)

#### ①茨城県庁(茨城県水戸市)

調査目的 公共交通・次世代都市交通システム  
「つくばスマートシティ協議会」が進める次世代都市交通システム及び公共交通活性化指針について調査を行いました。



茨城県議会にて

#### ②日立市役所(茨城県日立市)

調査目的 公共交通・次世代都市交通システム  
同市が進めるBRTの整備状況、BRTを生かしたまちづくり戦略及び自動運転BRTの取組について調査を行いました。

#### ③宇都宮市役所(栃木県宇都宮市)

調査目的 主要幹線道路の沿線開発  
同市が将来の都市構造として掲げる「ネットワーク型コンパクトシティ」について調査を行いました。

#### ④那須塩原市(栃木県那須塩原市)

調査目的 本県への移住促進  
地域交流と観光交流の核として令和元年7月にオープンした同施設など、那須塩原市のまちづくりや移住・定住のための取組について調査を行いました。

### 総合計画に関する特別委員会

委員長：中沢文一、副委員長：金井康夫  
委員：橋川洋介、星名建市、水野俊雄、  
萩原渉、臂泰雄、小川晶、入内島道隆、  
相沢崇文、神田和生、金沢充隆

★令和元年11月5日(火)～6日(水)

#### ①滋賀県庁(滋賀県大津市)

調査目的 次期総合計画策定  
同県は内閣府により令和元年度「SDGs未来都市」に選定されており、SDGsの特徴が生かされた「滋賀県基本構想」について調査を行いました。



滋賀県議会にて

#### ②ぐんま総合情報センター(ぐんまちゃん家)(東京都中央区)

調査目的 次期総合計画策定  
本県の知名度を上げる取組及び運営状況について調査を行いました。

#### ③総務省(東京都千代田区)

調査目的 次期総合計画策定  
総務省における地域力の創造・地方再生の取組について調査を行いました。

### 第3回前期定例会のあらまし

◇10月11日から11月25日までの前期定例会について、お知らせします。

決算特別委員会(10月9日設置)では、10月15日から16日にかけて分科会ごとに現地調査や審査が行われました。また、10月25日には各分科会主査から報告を受けた後、総括質疑を行いました。

10月30日の本会議では、決算特別委員会の審査結果について委員長から報告が行われた後、討論と採決が行われ、**決算に関する7議案**は、すべて**認定・可決**されました。

### トピックス

#### ◎全国都道府県議会議長会表彰状の伝達

第3回後期定例会最終日の12月16日に全国都道府県議会議長会表彰状の伝達が行われました。

受賞者  
(議員在職10年以上)  
**あべともよ議員**



伝達の様子

#### ◎群馬県議会フェイスブックを始めました

議会からのお知らせのほか、図書広報委員会に所属する議員が、おすすめする本の紹介や常任・特別委員会の審議内容などをレポートします。ぜひご覧ください。



## 第3回後期定例会のあらまし

◇第3回後期定例会は11月26日から12月16日までの21日間にわたって開催されました。

### 【議案】

知事から、台風第19号により被災した道路や河川、農業用施設や学校施設等の復旧事業や、被災者への生活再建に向けた支援金や災害見舞金等の支給、CSF（豚コレラ）対策として畜産関係車両を消毒するポイントの継続実施のほか、人事委員会勧告等に基づく給与改定に伴う増額に必要な経費を追加する計275億1,283万円の増額を行う一般会計補正予算、群馬県立世界遺産センターの設置及び管理に関する条例、県立自然史博物館附属ホールなど9施設の次期指定管理者の指定に関する議案など計31議案が提出されました。

議会からは、委員会提出議案として条例案1件、意見書案1件が発議されました。

### 【質疑及び一般質問】

12人の議員による質疑及び一般質問が行われ、県政全般について活発な議論が行われました。(2頁参照)

### 【常任委員会・特別委員会】

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査・調査しました。

### 【議決】

常任委員会の審査結果などについて各委員長から報告が行われた後、議案及び請願について討論と採決が行われました。

知事から提出された31議案は全て可決・同意されました。

また、委員会から発議された2議案は、いずれも可決されました。

### ◇可決された主な議案

- 令和元年度群馬県一般会計補正予算（第7号）
- 群馬県立世界遺産センターの設置及び管理に関する条例  
群馬県立世界遺産センターを設置しようとするもの
- 指定管理者の指定について  
指定管理者の指定に関するもの
- 県議会議員の議員報酬等支給条例の一部を改正する条例（議会運営委員会発議）  
期末手当の改正を行おうとするもの

### ◇可決された意見書

- 免税軽油制度の継続を求める意見書

## GACHi高校生×県議会議員 ～政治を知らなきゃソンをする！～ (二葉高等特別支援学校)



11月8日、二葉高等特別支援学校を3人の議員が訪問し、14人の生徒と意見交換等を行いました。

議員が政治や選挙の仕組みをクイズを交えて分かりやすく解説した後、生徒からの質問に丁寧に答えました。

今年度は2月までに、同校はじめ12の高校で、約1700人の生徒の参加を得て実施する予定です。

## 若者の政治への関心を高める取組

### ..... 参加者の感想 .....

#### ●二葉高等特別支援学校1年 代田麗王さん

日常で困っていることを今回の意見交換を通じて、質問することができました。

18歳になった時に、正しい知識を持って投票所に行けるよう、これから勉強していきたいと思います。



#### ●浅井道明校長

素直で吸収力のある生徒が本校には多く、今日も前のめりの姿勢で積極的に参加していました。私が高校生の頃には、このような事業はなく、県下の高校生の投票率アップには最短の手段だと感じました。



#### ●群馬県議会 狩野浩志議長



生徒の皆さんが熱心に質問していることに感じました。高校生の皆さんには、この企画を通じて県議会を身近に感じていただき、有権者になった際には、ぜひ投票所に足を運んでいただきたいと思います。

## 議会基本条例推進委員会による 大学生参加型選挙啓発チーム (G-Vote18)へのヒアリング



12月4日、議会基本条例推進委員会が、県選挙管理委員会で組織する大学生参加型選挙啓発チーム(G-Vote18)の学生11人から、若者の政治への関心を高める方策について意見を聞きました。

学生からは、「若者向けの政策をアピールした方がよい」、「小中学校から啓発活動を行うとよいのではないか」、「今回のように議員と直接話す機会があるとよい」等、さまざまな意見が述べられました。

### 学生の感想 ●群馬大学3年 根岸あゆ香さん



若者にとって、政治や選挙について考えることは、気取っていると思われるかもしれませんが、友達同士で話をするだけで印象が変わっていくと思います。今後も単に受信だけでなく、発信する側になって活動していきたいと思っています。

## 令和2年第1回定例会のご案内

### ◎本会議・委員会開催日程

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
2月17日	月	本会議 (開会・提案説明)	3月3日	火	常任委員会 (元年度関係)
21日	金	本会議 (党(会)派代表による 質疑及び一般質問)	6日	金	本会議 (委員長報告・議決(元年度関係))
2月25日	火	本会議 (質疑及び一般質問)	10日	火	常任委員会 (2年度関係)
27日	木		11日	水	特別委員会
28日	金		13日	金	本会議 (委員長報告・議決・閉会)
			18日	水	

※会期は予定ですので、変更される場合もあります。

会期は2月17日から3月18日の予定です。

本会議・委員会はどなたでも傍聴できます。

※開会は、おおむね午前10時からです。

本会議は当日の午前9時から、委員会は午前8時30分から、それぞれ先着順に受け付けます。

### ◎県議会中継

テレビ ★群馬テレビ 午前10時～〈生中継〉  
本会議(質疑及び一般質問)をご覧いただけます。

インターネット ★県議会ホームページ「議会中継」  
〈生中継〉〈録画〉

本会議(全日程)と決算特別委員会総括質疑をご覧いただけます。



スマートフォンは  
こちらから



県議会では、**弔電を自粛する申し合わせ**を行っています。

◎県議会だよりはスマートフォン等でご覧になれます。



◎過去の県議会だよりは  
こちらからご覧ください。



◎「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和2年4月5日(日)発行予定です。

◎「県議会だより」についてのご意見を政策広報課までお寄せください。☎027-897-2891 FAX027-243-4211 ✉giseisaku@pref.gunma.lg.jp

県議会ホームページ

群馬県議会

検索

県議会の情報は、ツイッター及びフェイスブックでも発信しています。